



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月10日

上場会社名 愛眼株式会社  
 コード番号 9854 URL <http://www.aigan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 下條 三千夫  
 (氏名) 佐々 昌俊  
 TEL 06-6772-3383

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	11,983	3.1	198	5.6	246	9.3	151	10.5
2019年3月期第3四半期	12,364	0.9	209	38.1	271	31.3	168	48.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 152百万円 (38.8%) 2019年3月期第3四半期 109百万円 (69.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	7.79	
2019年3月期第3四半期	8.71	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	16,515	14,298	86.6
2019年3月期	16,686	14,223	85.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,298百万円 2019年3月期 14,223百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		4.00	4.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期(予想)期末の配当につきましては未定であります。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,221	0.1	232	3.2	296	3.5	153	7.1	7.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,076,154 株	2019年3月期	21,076,154 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,668,365 株	2019年3月期	1,667,879 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	19,408,066 株	2019年3月期3Q	19,408,398 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな景気回復基調にあるものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、中東情勢の緊迫化、日韓関係の悪化など海外の政治・経済情勢の不確実性に加え、足許では消費増税の個人消費への影響に注視していく必要があり、先行きの不透明感を払拭できない状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様からの支持・信頼の獲得に焦点を当てた営業戦略と経営資源の効率的な活用を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、眼鏡小売事業の既存店売上が前年同四半期比2.1%減と前年を下回り、売上高は11,983百万円(前年同四半期比3.1%減)となり、また、売上総利益率は、主に品種別の売上構成比の変化の影響で0.4ポイント上昇しました。一方、経費面では、新店開発、自社物件の店舗の建て替え、大型改装等の経費が嵩む要因があったものの、経費コントロールの徹底を図り、広告宣伝費、人件費、賃料などの圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は8,100百万円(前年同四半期比2.5%減)となりましたが、売上高が伸び悩んだことで売上高販管費率は0.4ポイント上昇しました。この結果、営業利益は198百万円(前年同四半期比5.6%減)、経常利益は246百万円(前年同四半期比9.3%減)となりました。また、特別損失として減損損失250百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は151百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

## [眼鏡小売事業]

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として永年培ってきた快適で安心な視力・聴力補正技術、高い専門性を要する商品提案力と接客・サービス力の全てが結集した「愛眼ブランド」で競争優位性の強化に取り組んでおります。

商品につきましては、「目の健康」をテーマに、幅広い年齢層のお客様の多岐にわたるニーズに対応した快適で機能的な高付加価値商品を開発することで、品質・価格の両面で競争力がありお客様満足度の向上に繋げております。安心でお買い得な商品の品揃えを充実させ、マーチャンダイジングによる販売促進と各種広告媒体を通じた情報発信に努めてまいりました。また、お客様の利便性向上のため、全国の店舗でスマホ決済「Pay Pay」「LINE Pay」の取り扱いを開始いたしました。

売上高につきましては、主に競争激化による低価格帯メガネの販売数の減少、日照不足の日が増えるなど天候不順によるサングラスの不振、消費増税による駆け込み需要の反動などの影響があり、前年同四半期に対して減収となりました。

店舗につきましては、2店舗を新規に出店し、4店舗を閉店いたしました。また、1店舗で店舗建て替えを行い、9店舗で既存店の活性化改装を実施いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は11,449百万円(前年同四半期比3.1%減)、セグメント利益275百万円(前年同四半期比7.5%減)となりました。

## [眼鏡卸売事業]

眼鏡卸売事業につきましては、取引先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組んでおります。

この結果、売上高は352百万円(前年同四半期比1.1%減)となり、セグメント利益は4百万円(前年同四半期比331.9%増)となりました。

## [写真館事業]

愛写館3店舗を営む写真館事業につきましては、人生の節目節目の記念日を感動的で素敵な思い出にできる豊富な撮影メニューや衣装レンタルメニューに、家族の絆・子供の成長、現在と未来、時を架けるあなただけの物語「ストーリー写真集プラン」を新メニューとして追加するなど集客に努めてまいりましたが、競争激化により厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は65百万円(前年同四半期比14.9%減)、セグメント損失は58百万円(前年同四半期はセグメント損失52百万円)となりました。

## [海外眼鏡販売事業]

海外眼鏡販売事業につきましては、中国での競争環境が引き続き厳しい状況にあるなか、愛眼のPB商品やメイド・イン・ジャパン商品の品揃えの強化による集客力アップに努め、採算面の改善に取り組んでおります。

この結果、売上高は115百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント損失9百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ、現金及び預金の減少、商品及び製品の増加等により171百万円減少し16,515百万円（前連結会計年度末比1.0%減）となりました。また、負債合計は賞与引当金及び流動負債のその他の減少等により245百万円減少し2,217百万円（前連結会計年度末比10.0%減）となり、純資産合計は14,298百万円（前連結会計年度末比0.5%増）で、自己資本比率は86.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年11月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,414	5,060
受取手形及び売掛金	970	844
商品及び製品	2,078	2,230
原材料及び貯蔵品	27	35
その他	204	287
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	8,691	8,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,015	1,069
土地	1,887	1,878
リース資産（純額）	0	0
その他（純額）	215	302
有形固定資産合計	3,118	3,250
無形固定資産		
リース資産	21	8
その他	8	51
無形固定資産合計	29	60
投資その他の資産		
投資有価証券	932	933
敷金及び保証金	3,289	3,204
その他	624	610
投資その他の資産合計	4,847	4,749
固定資産合計	7,994	8,059
資産合計	16,686	16,515

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	641	645
未払法人税等	105	103
賞与引当金	86	2
その他	1,075	931
流動負債合計	1,909	1,682
固定負債		
繰延税金負債	26	28
再評価に係る繰延税金負債	6	6
資産除去債務	329	330
リース債務	26	6
その他	164	162
固定負債合計	553	535
負債合計	2,463	2,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,478	5,478
資本剰余金	6,962	6,962
利益剰余金	5,214	5,288
自己株式	△1,050	△1,051
株主資本合計	16,604	16,677
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63	69
土地再評価差額金	△2,471	△2,471
為替換算調整勘定	26	22
その他の包括利益累計額合計	△2,380	△2,379
純資産合計	14,223	14,298
負債純資産合計	16,686	16,515

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	12,364	11,983
売上原価	3,850	3,685
売上総利益	8,514	8,298
販売費及び一般管理費	8,304	8,100
営業利益	209	198
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	11	9
受取家賃	52	58
その他	42	21
営業外収益合計	112	94
営業外費用		
固定資産除却損	20	6
賃貸費用	31	36
その他	0	3
営業外費用合計	51	46
経常利益	271	246
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	2	2
減損損失	28	25
特別損失合計	32	27
税金等調整前四半期純利益	238	220
法人税、住民税及び事業税	70	69
法人税等調整額	△0	△0
法人税等合計	69	69
四半期純利益	168	151
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	168	151

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	168	151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55	5
為替換算調整勘定	△3	△4
その他の包括利益合計	△59	1
四半期包括利益	109	152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109	152
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	11,817	356	77	113	12,364	—	12,364
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	66	—	—	66	△66	—
計	11,817	422	77	113	12,431	△66	12,364
セグメント利益又は損失 (△)	297	1	△52	△9	236	△26	209

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△36百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外眼鏡販売	全社・消去	合計
減損損失	10	—	18	—	—	28

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外 眼鏡販売			
売上高							
外部顧客への売上高	11,449	352	65	115	11,983	—	11,983
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	53	—	—	53	△53	—
計	11,449	406	65	115	12,037	△53	11,983
セグメント利益又は損失 (△)	275	4	△58	△5	215	△17	198

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△25百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報  
(固定資産に係る重要な減損損失)

（単位：百万円）

	眼鏡小売	眼鏡卸売	写真館	海外眼鏡販売	全社・消去	合計
減損損失	25	—	—	—	—	25

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。